

# 東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	芸術	科目：	音楽 I	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	Tutti+ 教育出版社	副教材	自主教材				

年間指導目標：

- ・読譜能力の向上と応用 ・グループ実習により互いを尊重し高めあい、協力する力を培う。
- ・我が国の伝統的楽器を演習することにより、日本の文化に興味関心を持てるようにする。
- ・歌唱表現や楽器を通して自主性や表現力を養う。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・曲想と音楽の構造を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。	・音楽に必要な表現を身に付け、意図を理解する。	・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数	
					a	b	c	d	e		
1 学期	中間 考査	・校歌 ・発声、呼吸法、体の仕組みと発声 ・ソルフェージュ ・イタリア歌曲	(知)	・曲想と音楽の構造を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体使い方などの技能を身に付け歌唱で表している。			○	※	※	○	12
			(思)	・音楽に必要な音色、リズム、旋律、強弱などの表現を身に付け、意図を理解する。			○	※	※	○	
			(態)	・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。・イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発音で表情豊かに歌うことに関心を持ち学習に取り組む。			○	※	※	○	
1 学期	期末 考査	・日本の伝統音楽、楽器実習 ・楽語	(知)	・曲想と音楽の構造を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。			○	※	※	○	12
			(思)	・音楽に必要な音色、リズム、フレーズ、強弱などの表現を身に付け、意図を理解する。			○	※	※	○	
			(態)	・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。			○	※	※	○	

2 学期	中間 考 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、呼吸法</li> <li>・ソルフェージュ</li> <li>・ギター奏法研究</li> </ul>	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と楽器の音色、音楽の構造と奏法を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。</li> </ul>		○	※	※	○	16
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に必要な音色、リズム、旋律、強弱などの表現を身に付け、意図を理解する。</li> </ul>		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。</li> <li>・ギターの奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏することに関心を持つ。</li> </ul>		○	※	※	○	
2 学期	期 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱</li> <li>・合唱</li> <li>・楽語</li> </ul>	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。</li> <li>・日本語の言葉の特性と曲種に応じた発声を理解する。</li> </ul>		○	※	※	○	16
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に必要な音色、リズム、旋律、音程、強弱などの表現を身に付け、意図を理解する。</li> </ul>		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。</li> <li>・曲にふさわしい発声を意識し、自己のイメージを持って創意工夫することに関心を持つ。</li> </ul>		○	※	※	○	
3 学期	学 年 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なジャンルの音楽</li> <li>・グループ実習</li> <li>・ソルフェージュ</li> <li>・楽語</li> </ul>	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造を理解し、音楽表現に必要な技能を習得する。</li> <li>・反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け表している。</li> </ul>		○	※	※	○	22
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に必要な音色、リズム、旋律、強弱などの表現を身に付け、意図を理解する。</li> </ul>		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通して、その音楽文化や曲想について真剣に取り組む。</li> <li>・奏法を身に付けることや音楽表現を工夫しながらアンサンブル活動することに関心を持つ。</li> </ul>		○	※	※	○	
合計										78